

本日予定していた「プール開き」は天候、水温等を考慮し中止としました。今後全体でのプール開きが行わず、木曜日より天候、水温等を見ながら、ブロックごとでのプール授業の開始となります。ご理解ご協力よろしくお願いします。

以下の資料は、本年度、県教委が出した「小学校の水泳指導における安全管理指針」～水泳授業の事故防止に向けて～を受けて、三崎小学校で作成した「三崎小学校における安全な水泳授業の進め方 ～計画から水泳授業実施まで～」です。教職員と児童でも確認しますが、保護者のみなさまも、一読よろしくお願いします。

【この資料と県教委が出した「小学校の水泳指導における安全管理指針」～水泳授業の事故防止に向けて～は、三崎小学校のホームページにも掲載しています。】

(赤字は県教委作成の「小学校の水泳指導における安全管理指針」のページを参照)

三崎小学校における安全な水泳授業の進め方 ～計画から水泳授業実施まで～

1 水泳授業の体制づくり【P3】

校内研修、職員会等を「水泳授業安全委員会」の場と位置づけ、全職員が組織的に連携・協力し、全職員が共通理解し取り組みを進めていきます。

2 水泳授業の安全管理の徹底

(1) 緊急時の対応マニュアルの作成及び確認【P3～6、P30、P32～33】

①【別紙】

- ・水泳指導安全管理のファイルに閉じる
- ・ラミネートして、プールや職員室に掲示する

(2) 校内研修の実施【P4】

- ①毎年、水泳授業が開始するまでに水泳水泳指導の安全管理等に関する研修を実施する。
- ・県教委が行う研修会を受け、伝達講習会を行う。

(3) 実施場所の安全確認【P7～8、P10～12、P27】

- ①水位 三崎小のプールの水深は、小プールは両サイド50cm、中央部60cm、大プールは飛び込み台がある付近は100cm、中央部付近は120cmとなっている。小プールは60cmに設定（1、2年生、水泳が苦手な児童、恐怖感を持っている児童）大プールはすべての児童の両肩が水面から出るラインを目安とする。
（中央部付近の水位を80～85cmくらいに設定する）（3～6年）

②AEDの設置

③プールの排水口（プール掃除時に管理職、体育主任が安全確認を行う）

④避難場所

- ・水の事故の場合は、児童をすぐにプールサイドにあげ、プール入り口付近に集める
- ・落雷等が起こった場合は、プールから上げ、更衣室に避難する（雷検知器を準備）
- ・地震津波等の場合は、上ノ段の高台へ避難する

⑤救命具の準備

⑥水温と気温及び水質（養護教諭、体育主任等が管理する）

⑦熱中症対策（養護教諭、体育主任等が管理する）

- ・暑さ指数等を計測する器具を活用
- ・遮光ネット、簡易テントの設置

- ・水筒等を持参
- ・経口補水液、タブレット等の準備

(4) 児童の健康管理【P9、P28～29】

①【別紙】

- ・児童が水泳に適した健康状態であることを事前に確認

3 水泳指導計画の作成【P19～26】

(1) 水泳指導の目標・年間指導計画の作成

4 安全な水泳授業の実施【P12～18、P29～31】

(1) 授業前・中・後のチェックリストの活用【別紙】

(2) 監視者の配置と監視位置

- ・監視者を1名以上設置する（授業者、監視者あわせて3名以上で行う）
- ・死角を作らない
- ・全職員で水泳指導に当たる

プール時間割（プール開きの翌日より開始：但し、気温・水温により考える 実施曜日の変更もありうる）

	月	火	水	木	金
1					
2		1・2年		1・2年	3・4年
3					
4					
5	5・6年	3・4年		5・6年	
6					

(3) 人数確認

- ・バディシステムを取り入れ、頻繁に活用する
- ・事前にグループ分けをしておく（各担任）

(4) 水位の確認

- ・授業前には授業者が確認

(5) 入水時の注意事項

- ・授業前にルールを徹底する

(6) 泳ぎが得意でない児童の把握と対応

●準備物

- ・AED ・ホイッスル ・各種シート等 ・ヘルパー ・ビート板 ・タンカ ・浮き輪
- ・拡声器・バスタオル(複数枚) ・毛布 ・水筒 ・経口補水液 ・タブレット ・雷検知器
- ・暑さ指数等を計測する器具 ・遮光ネット ・簡易テント

水泳授業における記録シート

三崎小学校

監視者等が活用する水泳授業中における児童の安全確保に関する記録シート

<児童の安全確認に関する記録シート>

記録者（ ）

日 付	() 月 () 日 () 曜日 () 時間 分				
クラス	() 年 () 組				
授業開始時	児童数		男 子	女 子	合 計
		入水者			
		見学者			
		欠席者			
		合 計			
	体調確認	入水予定者における体調不良者の有無			無 ・ 有
		【※「有」の場合はその状況及び人数等について記載】			
施設状況	活動場所（プール内）に危険な箇所や危険な物は無いか			無 ・ 有	
【※「有」の場合はその内容及び対応について記載】					

※授業中に全体が一定時間退水しプールサイドに上がった際には、以下の内容について必ず確認すること。なお、授業終了時においても同様の確認を行うこと。

	回数	退水時間	確認内容	問題が無ければ☑	備考
授業実施中	1回目	:	プール内に残っている児童はいない	<input type="checkbox"/>	
			入水していた児童全員の安全が確認できた	<input type="checkbox"/>	
			体調不良者は発生していない	<input type="checkbox"/>	
	2回目	:	プール内に残っている児童はいない	<input type="checkbox"/>	
			入水していた児童全員の安全が確認できた	<input type="checkbox"/>	
			体調不良者は発生していない	<input type="checkbox"/>	
	3回目	:	プール内に残っている児童はいない	<input type="checkbox"/>	
			入水していた児童全員の安全が確認できた	<input type="checkbox"/>	
			体調不良者は発生していない	<input type="checkbox"/>	
授業終了時	※最終退水時間	:	プール内に残っている児童はいない	<input type="checkbox"/>	
			入水していた児童全員の安全が確認できた	<input type="checkbox"/>	
			体調不良者は発生していない	<input type="checkbox"/>	

*授業中及び授業後に体調不良者が発生した場合には、養護教諭や管理職等と必ず情報共有を図ること。

*緊急事態に備え、緊急時の対応について必ず把握をしておくこと。

水泳授業におけるチェックリスト

三崎小学校

<授業直前におけるチェックリスト>

【全般】

- ☐ 授業者と監視者の役割が区別できている。
- ☐ 児童数並びに児童の健康状態について把握している。
- ☐ 泳ぎが得意ではない児童について、授業者及び監視者の間で情報共有ができています。
- ☐ 水泳授業を行うにあたり、適切な環境（天候・水温・気温等）である。
- ☐ ホイッスル、携帯電話等を持参している。
- ☐ 救命具がプールサイド等に準備されている。
- ☐ 排（環）水口等の蓋の固定や吸い込み防止金具の設置について異常が無い。
- ☐ 児童の体格や泳力等に応じた適切な水位が設定されている。

【緊急時の対応について】

- ☐ 緊急時の連絡手順を知っている。
- ☐ 心肺蘇生法を実施することができる。
- ☐ AEDの設置場所並びにAEDの操作方法を知っている。
- ☐ 事故が起きた場合に、事故者以外を安全な場所に速やかに誘導し、適切な指示を伝えることができる。
- ☐ 救急車及びストレッチャーの搬入搬出ルートを理解している。
- ☐ 「事故発生時の対応チェックリスト」及び「緊急時の対応マニュアル（フロー図等）」が作成されている。

<授業中・直後におけるチェックリスト>

【全般】

- ☐ 監視者は、児童退水後、プール内に残っている児童がいらないか確認をした。
- ☐ 児童数を確認した。
- ☐ 児童の健康観察を行った。
- ☐ 指導中、バディチェックを複数回行い、バディ相互の安否確認を行った。

【体調不良者が発生した場合】

- ☐ 養護教諭等と体調不良者の情報共有を行った。
- ☐ 授業担当者が担任ではない場合、担任と体調不良者の情報共有を行った。
- ☐ 管理職と体調不良者の情報共有を行った。
- ☐ 保護者と体調不良者の情報共有を行った。

事故発生時の対応チェックリスト

三崎小学校

事故発生時における授業者等の対応チェックリスト

<事故発生時の対応チェックリスト>

- ☐ 事故発生の確認 [:]
- ☐ 事故者の救助 [:]
- ☐ 事故者の意識等の確認

【意識がない場合や判断に迷う場合】

- ☐ 協力依頼
 - ☐ A E D 持参の依頼
 - ☐ 119 番通報の依頼
→ 通報時間 [:]
 - ☐ 救急車の誘導の依頼
 - ☐ 職員室へ連絡の依頼
→ 連絡時間 [:]
- ☐ 心肺蘇生法の開始 [:]
- ☐ 事故者以外の児童を安全な場所へ誘導並びに状況説明
- ☐ A E D 使用開始 [:]
- ☐ 救急隊員の到着 [:]
- ☐ 救急隊員への状況説明

上記の他に、

- ☐ 管理職への報告 → [:]
- ☐ 地教委への連絡 → [:]
- ☐ 保護者への連絡 → [:]

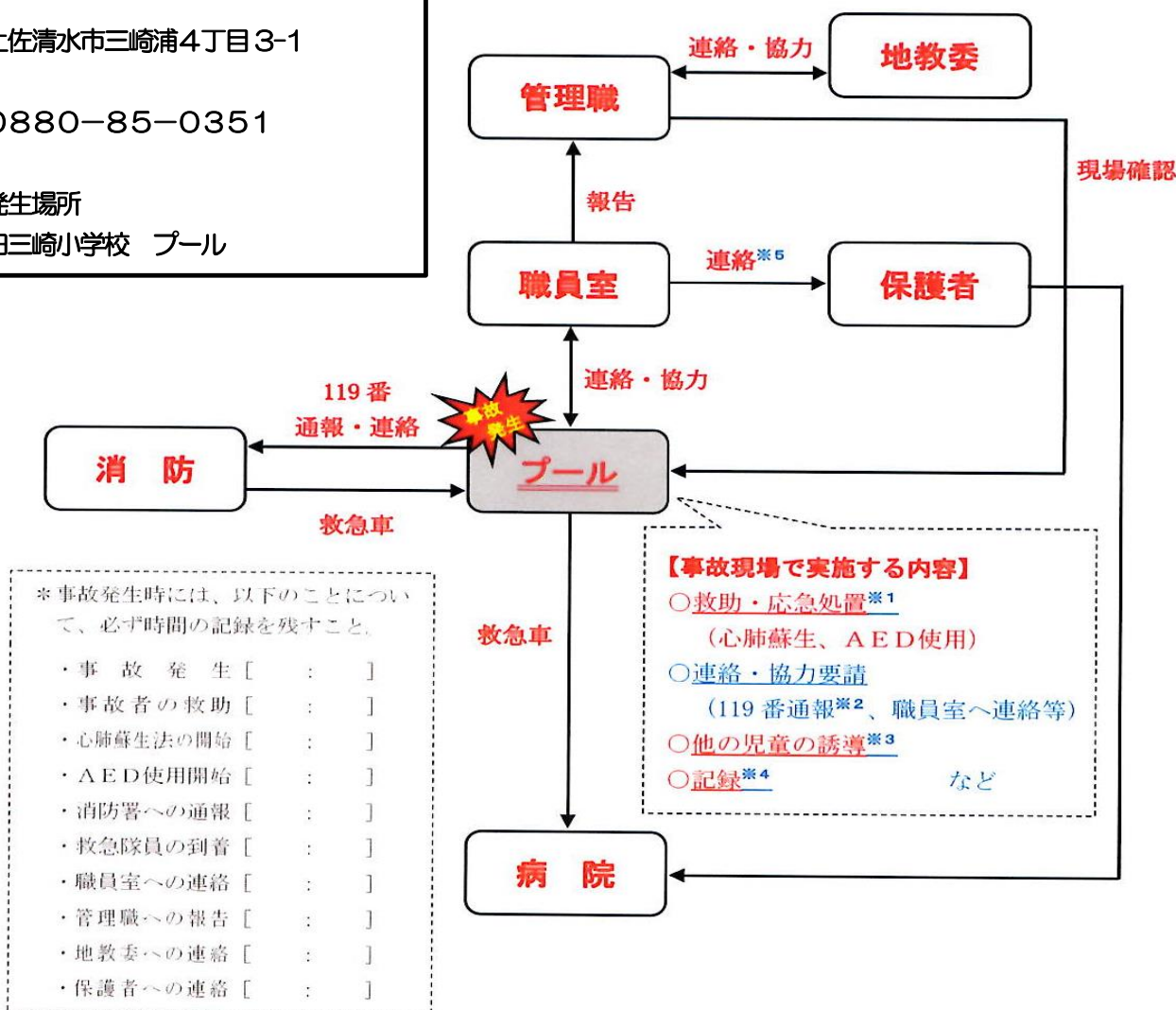
【意識がある場合】

- ☐ 事故者の状態確認
(※応急手当含む)
- ☐ 養護教諭等へ連絡または保健室への搬送
- ☐ 事故者以外の児童への状況説明
- ☐ 管理職への報告
- ☐ 保護者への連絡

緊急時の対応マニュアル【フロー図等】

三崎小学校

土佐清水市立三崎小学校
土佐清水市三崎浦4丁目3-1
0880-85-0351
発生場所
旧三崎小学校 プール



<留意点>

※1…自発呼吸が回復するか、救急隊が到着するまで継続する。

※2…救急車の依頼時における必要最低限の連絡事項

① 学校名、所在地、電話番号

② 事故内容

- ・いつ、だれが、どこで、どうしたか
- ・事故者の症状と行った（行っている）対応
- ・救急車到着までに学校ですべき内容の確認

※3…事故者以外の児童を安全な場所へ誘導する。

※4…事故の様子や傷病の状態、事故対応等について記録する。

※5…事故概要、傷病の状態、応急処置の状況等を報告し、病院に来ていただくよう依頼する。